

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2021年11月26日

事業所名: Dream

サービス種類: (放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員は、10名を前・後半2グループに分けて活動ごとに、指導訓練室に分かれて活動を行い「密」にならないスペースの確保を行っています。	・はい…93.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…7.0%	部屋数はあるものの、利用者10名全員が集まって活動するスペースについては、合同で活動する際のスペースは充分とは言えず、密にならないための工夫を今後も行っていきます。
	2 職員の適切な配置	基準通りの人員を配置は基より、児童指導員加配加算、強度行動障害養成研修受講した職員の配置等、多様な特性の児童への支援に配慮しながら対応を行っています。	・はい…89.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…11.0%	今後も職員の適切な配置はもちろん、職員それぞれのスキルアップを行いながら支援を行います
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	活動によって過ごす部屋を分けています。また2階のにて療育を行うプログラムもあり、階段の上り下りの際には声をかけ合うことを表示するなど、視覚的・環境的に配慮しています。	・はい…75.0%・どちらともいえない…4.0% ・いいえ…0.0%・わからない…21.0%	視覚的支援としては絵カードなどを活用しながら分かりやすく伝えることが出来るように環境設定を行います。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	環境整備として日々丁寧に清掃を行っています。サービス提供前の清掃・消毒、空気清浄機の設置、次亜塩素酸水空間除菌、活動ごとに消毒を行う事で、安全な生活空間を確保しています。	・はい…96.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…4.0%	これまで同様に、施設内の整理整頓、掃除・消毒を行い、心地良く過ごせる環境を整えていきます
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の打ち合わせから始まり、療育終了後には振り返りを行いながら確認を行っています。またスタッフ会議やケース会議等職員が集まり意見を出し合う場を作り支援に繋がっています。		年間計画等活動の計画、行事計画・報告書の作成を通して、次回の迎えた計画・実施・検証・変更を行って行きます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	コロナウイルス感染症による、緊急事態宣言発令など外部からの来所を極力控えることとしたため、第三者評価を受けるには至りませんでした。		第三者評価を実施します
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	年間計画を立て、内部研修の実施に取り組んでいます。外部研修にも積極的に参加・情報共有を行い、職員の資質の向上に向けて、月1回以上の内部研修・外部研修などを行い、職員のスキルアップを行っています。		事業所内外研修を行い職員の質の向上に向けて更なる強化を行います
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者・児童のニーズを確認しながらケース会議等で課題の収集・整理、目標の設定を行い放課後等デイ、保護者との面談・電話において説明・調整を行いながら同意を頂いてサービス計画を作成しています。	・はい…100.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…0.0%	今後も継続して適切なアセスメント及び計画の作成を行います
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	設定した目標、内容が、達成できるように、留意事項に注視しながら、児童の発達・スキル向上に向けて、SSTを個別活動・訓練活動・集団活動のプログラムに盛り込んで支援計画を実践しています。		今後も継続しながら、子どもの状況に合わせた個別活動や集団活動の提供を行います
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画には、総合的な課題、長期目標、短期目標、災害時の避難についての事項、利用者の課題を解決するための目標、実践する内容、留意すべき事を記載するとともに、発達支援・家族支援・地域との連携など留意事項も含めながら支援内容・期間の設定を記載しています。	・はい…100.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…0.0%	支援計画策定・実施中において、子どもの様子や状況により、急遽対応すべき事案が発生した時には、保護者と協議し計画の見直しを行うなどきめ細かい対応を行います。
適切な支援の提供	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に対して保護者の同意を頂いた後、支援シートを作成し月毎に個別記録表に添付することで、計画内容を指導員が随時確認しながら支援出来るようにしています。	・はい…100.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…0.0%	支援シートを支援の際には指導員全員が毎回確認を行い、適切な支援に繋がります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	指導員リーダーが中心となり、職員間で話し合いながら、具体的な活動プログラムを立案しています。また行事等の活動毎の計画書を作成し、取組後は実施報告書にて結果や改善点を残し次に繋がります。職員がそれぞれの役割をもって、日々の支援を行っています。		これまで同様、指導員リーダーを中心に活動プログラムを立案していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日授業と休業日ではサービス提供時間が異なるサービス提供を行っていましたが、コロナウイルス感染症の蔓延により、時間設定を2グループに分けることし、継続的なプログラムを基本に、実践に繋がるSSTに実生活のある事項の設定を取り入れていきます。コロナ禍においても、活動できる生活スタイルを模索しながら支援を行って参りました。	・はい…93.0%・どちらともいえない…7.0% ・いいえ…0.0%・わからない…0.0%	前・後半の入れ替えなどがスムーズにいくように、配慮ながら、平日活動・休日・長期休暇の活動については時制などに配慮しながら支援を行って参ります。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	来所から退所までの時間設定はしています。生活日常動作や社会生活確立に向けて、児童からの意見を実現する活動に取り組んでいます。また、訓練や個別活動は楽しみながら、制作・訓練活動を行っています。		毎月の活動や訓練・学習などにも、子どもたちの希望や意見を取り入れながら、メリハリのある活動の工夫を実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供 (続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	ミーティングを行い、児童の予測される行動に対する配慮の仕方や職員のポジショニングや各担当配置などを話し合い、児童を受け入れる準備を行っています。	従来通り、役割分担や支援内容の確認を行います。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後に活動内容、児童対応の仕方など良かった点・配慮が必要だった点・改善点ヒヤリハットなどを話し合い、日々記録として残しています。保護者とのやり取りなども報告を行い、情報共有に努めています。	ヒヤリハットを含めた、振り返りの時間を設け日報への記入を行っています。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援内容に関しては個別記録に記載しています。記録を基にケース会議において、検証を行い、次の支援について話し合った結果をモニタリング報告書に作成し、保護者と電話や直接面談します。面談から本人や家族と今後の方向性を共有します。緊急性を要する場合は迅速に対応策を話し合い改善を図っています。	これまで同様継続して、記録の作成及び支援を振り返り計画の評価、支援の検討過程の記録を継続して行います。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングやケース会議を行い、保護者に内容を説明しています。また家庭での状況も伺いながら本人・家族のニーズの把握を行いサービス計画の見直しを行っています。	年間を通して、指導員・児童発達支援管理責任者がともに、定期的に支援の見直しを行っています。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	保護者・相談支援専門員・関連事業所・学校などと連携し、統一した支援が行われるようにサービス担当者会議を積極的に参加しています。	今後は、出来る限り担当指導員、児童発達支援管理責任者など、子どもの状況に精通した職員とサービス担当者会議に参画します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	保護者の意向を基に円滑な移行支援の必要性をお伝えし、情報提供に努めます。	保護者の意向を基に円滑な移行支援の必要性をお伝えし、情報提供に努めます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修受講のお知らせがあった際には職員に周知し受講を推進しています。	今後はウェブでの研修等多様な研修を受けることが出来るように環境を整備し、研修のお知らせを受けた際には積極的に受講を促進していきます。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	障害のない子供との交流に関しては、障害特性の享受が出来ない利用者や家族が通所を公表していない場合もあるため、放課後児童クラブや児童館との交流するまでにはまだ至っていません。	ニーズを聞きながら、必要に応じて交流の計画を考えていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍にあって、地域の方との交流や招待などは出来ませんが、地域の清掃活動など自分たちが出来ることで地域との繋がりを大切にしています。	今後も継続して地域との交流会などの自分たちができることを模索しながら機会を設けていきたいと思っています。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容・利用者負担などについては契約時に重要事項説明書を読み詳しく説明をしています。年1回保護者向けの前年の振り返り、今年度の活動を知らせる冊子を作成し、利用者負担の実費などに関しては公表しています。利用料等の変更に関しては、1ヶ月以上前に保護者に連絡を入れ周知しています。	契約時に説明を求め、変更がある際には1ヶ月以上の期間を設けながら周知を行うことを、今後も継続して取組んでいきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	放課後等デイサービスの計画を作成し、最低半年に一度見直しを行いながら児童発達支援管理責任者より説明を行い承認を頂いています。	今後も継続して取組んでいきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	具体的な対応の仕方については、保護者より質問などがある時には随時、面談日以外でも時間を取り保護者の話を伺いながら具体的に対応の仕方をお伝えしています。ペアレント・トレーニングには至っていません。	勉強会・講演会など企画し、情報の共有及び実践の取り組み方など学ぶ機会やお伝えする機会を設けるように努力します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
保護者への説明責任・連携支援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時には、現状をお伝えしたりモニタリングの結果を話すことで共通理解を図っています。気になることや変更に関しては直接電話で話したり、事業所携帯にラインで共有することでタイムラグを少なくしています。	・はい…100.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…0.0%	今後も個々の要望や言葉に向き合い、継続して取組み共通理解が進む様にしていきます。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	定期的な面談だけではなく随時、相談には対応し、保護者の思いに寄り添う対応を重ねています。また必要に応じて学校や相談支援専門員・他事業所と連携を図り迅速に対応策を協議しています。	・はい…96.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…4.0%	今後も保護者の思いに寄り添いながら継続して一緒に課題解決に向けて取り組んでいきます。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会は年1回開催しています。保護者同士の連携支援には至っていません。	・はい…61.0%・どちらともいえない…25.0% ・いいえ…0.0%・わからない…14.0%	現在の取り組みを継続して行い、保護者同士の連携支援の構築を考えていきます。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・相談マニュアルを作成し、迅速かつ適切に対応出来るようにしています。契約時には当該施設以外にも行政機関を含めた苦情窓口を保護者にお伝えしています。	・はい…82.0%・どちらともいえない…11.0% ・いいえ…0.0%・わからない…7.0%	契約時だけでなく定期的に苦情解決の窓口の説明を行います。保護者からの意見には迅速に対応するようにします	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言語支援だけではなく絵カード・ジェスチャー・筆談など視覚的に理解しやすい方法で意思の疎通や伝達を行っています。保護者への連絡は、連絡帳や月刊のお便り及び必要に応じた電話対応などで情報提供を行っています。	・はい…100.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…0.0%	今後も継続して意思疎通が図れるように様々な方法を考え取り組んでいきます。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	利用日には連絡帳において活動したことを報告し、毎月1回のお便りを発行で、活動内容の報告や今後の行事予定等必要書類などについても掲載を行い情報発信を行っています。	・はい…96.0%・どちらともいえない…4.0% ・いいえ…0.0%・わからない…0.0%	今後はブログでの発信など、より保護者のニーズを注視しながら継続して取り組んでいきます。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	事業所建物の施設・書庫の施設など取り扱いについては契約時に書面で同意を頂くように対応しています。	・はい…92.0%・どちらともいえない…4.0% ・いいえ…0.0%・わからない…4.0%	今後も個人情報の取扱いには十分に配慮していきます。	
	非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアル策定は行っています。また職員研修の場なども受け周知を行っていますが、保護者への発信には「子どもたちの安心・安全のための安全マニュアルご家庭・事業所相互掲示板」を全過程に配布し事業者に掲示しています。	・はい…100.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…0.0%	各マニュアルの周知を行い保護者への発信や事業所内での情報提供の仕方など環境整備してしていきます。
		2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	非常災害や他防災の意識付けを防災週間として9月・1月に災害に対する予備知識の導入や実践として避難訓練(火災・地震・水害など)を行っています。また長期休暇中の8月には児童・職員共に加古川防災センターで実技体験を行いました。	・はい…93.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…7.0%	今後も継続して災害や防災についての意識向上を図り実践も含め訓練を行っていきます。お便りや連絡帳を通じて報告してきます。(平成30年11月以降の計画書にも避難先を明記し説明を行っています)
		3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	CAPLじめ虐待研修を利用者と研修し、別日に職員向け研修を実施しました。委員会設置に向けて、外部研修などに参加することを始め、事業所内では日々のミーティング及び振り返りの場で意識の統一を図る様にしています。		社内研修・社外研修会に参加し情報共有しながら意識の向上を図り日々の支援に生かしていきます。
4		やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在身体拘束に関して該当児童がいないので支援計画には記載していません。今後の課題として該当児童がいる時には、事前に会議で課題の収集及び対応策を検討し、保護者へ説明・同意を得る様に準備をしています。		必要時に備え、職員と共有しながら対応策を考えていきます。	
5		食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時や保護者との面談などで定期的にアレルギー他の有無・薬の飲み合わせ・対応策等確認しています。また保護者に確認の上、処方箋のコピーを頂くなど職員に周知しています。アナフィラキシーショックを起こした時の対応についてもイベントの使い方の検証しています。		仕様書を随時変更するなど、安全に通所できるように継続して取り組んでいきます。	
6		ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事例があった場合には振り返りやミーティングを共有の場としています。またその場で改善策も考え記載しファイリングしています。年間通して集計し検証するようにしています。		今後もヒヤリハット集を活用しながら、継続して取組み安心・安全に努めていきます。	
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	季節や、その時期にしかできない活動などを月ごとに体験を増やしていくことと、生活の自立を目指して、必要な活動を楽しみながら活動できるように支援を組み立てています。	・はい…93.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…7.0%	今何が必要なのか、利用者のニーズと獲得してほしい課題を把握しながら、プログラムを計画し支援に活かしていきます。	
	2	事業の支援に満足しているか	活動の計画は立てながらも、自己決定や集団での決め事などを子供たちからの発信を受け入れながら、自分たちの思いが達成し成功体験となれるよう心掛けています	・はい…100.0%・どちらともいえない…0.0% ・いいえ…0.0%・わからない…0.0%	一人一人の特性を理解し、小さい歩みでも成長の見られる支援を目指し取り組んでいきます	